

木田おりべの 令和8年第2回 定例会での 活動について

1 文教児童委員会

「教育機関が関与する外部活動の安全確保
および中立性の徹底に関する陳情」審査
ー沖縄県名護市辺野古沖で発生した
船転覆事故などを踏まえてー

2 文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会

文化芸術施設のあり方について

幸せを感じる街 板橋をつくる。

自民党

木田
木田おりべ

板橋区議会議員

文教児童委員会(委員)
文化芸術・多文化共生推進
調査特別委員会(委員)

防衛大卒元航空自衛官
2児の父

【私の志】

「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。」と自衛隊入隊の際に宣誓しました。今はその思いを、ご縁をいただいたここ板橋区のために誓います。自衛隊入隊は、歴史と伝統ある美しい日本を守りたいという一心からでした。そして、より大きな視点から日本のために尽くすべく、約13年間勤めた航空自衛隊を退官し、下村博文事務所の門を叩きました。現在は板橋区議会議員1期生として、皆さんからのご負託と議員の重責を胸に区議会に活動しています。航空自衛隊で培った勇猛果敢な精神で区議会に臨み、「幸せを感じる街 板橋をつくる。」それが私の志です。

木田織部 [経歴]

つよく、やさしく、まっすぐに。

- 昭和56年6月3日岩手県生まれ、岡山県瀬戸内市育ち
- 岡山城東高校卒業後、新聞奨学生を経験
- 防衛大学校人文・社会科学専攻人間文化学科卒業(第51期)
- 航空自衛隊にて約13年間勤務(3等空佐(少佐相当)で退官)
弾道ミサイル防衛、防空、災害派遣、防災訓練などを担当
- 衆議院議員下村博文秘書4年
- 家族に妻、長女(小学生)、長男(幼稚園児)
- 好きな食べ物はラーメン、カレー
- 尊敬する人物は両親と妻
(父は栃木県、母は岩手県、妻は青森県出身)
- 防災士、二等無人航空機操縦士(ドローンパイロット)



Action



徳丸の茶畑にて、近隣の5つの小学校児童が茶摘み体験。私は茶摘みの仕方を児童に教える係。児童が摘んだ新芽は、埼玉県内の工場に運ばれて茶葉に製茶され、後日児童のもとに届きました。



板橋区指定民俗文化財の「徳丸北野神社獅子舞」奉納。私は大獅子で「笹がかり」と「花めぐり」の2幕を舞いました。ご来場

くださった方々、応援してくださった方々、お支えくださった方々をはじめとした全ての皆様、ありがとうございました。



二等無人航空機操縦士(ドローンパイロット)の国家資格を取得しました。災害対応、広報、施設点検などで活用できるドローンの導入を区に求めるため、有資格者としてドローンの有用性を議会で発信していきます。



蓮沼東町会・青年部の「ミニしおひがり大会」。蓮沼児童遊園内に湿った砂場を作り、早朝に木更津で購入したアサリなどを埋め、子どもたちに潮干狩り体験をしてもらいました。私は朝から準備に参加し、アサリを埋めるなどする砂場周りを担当。子どもたちは喜んでアサリを探していました。



「食育の観点から、給食の試食や栄養士などからの意見聴取を通じて現状を把握し、これを政策提言に繋げ、学校給食をより適したものにする。」ことを目的とした区立小学校の給食調査。「食育の観点から、栄養士が活躍できる土壌をつくる(仮)」方向性で政策提言を検討していきます。



志村消防団操法大会に第7分団の1番員として出場。筒先を持って放水にあたりました。応援くださった方々、ご支援くださった方々をはじめ、皆様ありがとうございました。引き続き地域防災に取り組みます。



紅梅小学校の校内にある田んぼで5年生児童の田植えを支援。今回はうるち米を植え、10月頃に稲刈りをし、炊いた米を家庭科の授業で食べるそうです。児童の食への関心が深まることを願います。



北野小学校で4年生児童のマコモ馬作り支援。埼玉県吉見町の川で刈ったマコモを使用して馬を作ります。マコモは、私を含めた地元の皆さんで刈ったもの。マコモ馬は、昭和30年代頃まで徳丸などの地域で使われていた七夕飾り。児童は真剣に作っていました。



地域の方からご要望をいただき、徳石公園横の交差点に歩行者用の信号機設置を実現。松田やすまさ前都議を通じて警視庁に要望していました。この交差点には車両用の信号機しかない上、見通しも悪く、交通事故も発生していました。

【連絡先】

〒173-8501 板橋区板橋2-66-1

板橋区役所10階控室

tel: 090-7419-0813

mail:kidaoribe.itabashi@gmail.com

ホームページ



LINE



X



Facebook



ご意見・ご要望を
お寄せください。

01 文教児童委員会

今年度は文教児童委員会に所属することとなりました。文教児童委員会は右の①～⑤の事項を調査する委員会です。

- | | |
|--------|-----------------|
| ① 学校教育 | ④ 子ども家庭総合支援センター |
| ② 児童福祉 | ⑤ 図書館運営 |
| ③ 生涯学習 | |



初めての文教児童委員会では「教育機関が関与する外部活動の安全確保および中立性の徹底に関する陳情」を審査。陳情の要旨は、次の①～④を区に働きかけることを要望するもの。

- ① 教育機関が関与する外部活動における安全確保のための指針策定
- ② 教育機関と外部団体との関係について、保護者、地域、行政が適切に確認できる状態の整備
- ③ 児童生徒の外部活動参加に際して、教育の政治的中立性が確保されるよう必要な措置の構築
- ④ 児童生徒が多様な情報を主体的に判断できるよう、メディアリテラシー教育を充実

区側の説明や我が会派の調査結果から、板橋区として①～④は確実に行われているものと判断し、本陳情については、委員会決定「不採択」となりました。一方、**本陳情の要旨は教育現場にとって大変重要なものであり、直近で教育機関が外部団体と関与する中で発生した**

●**沖縄県名護市辺野古沖で発生した2隻の船転覆事故**

●**磐越道で発生したマイクロバスの事故**

と同様の事故や事態を板橋区として生起させないためにも、区立学校が関与する外部活動の安全確保及び中立性をこれからも徹底するよう、私から次のとおり区に要望しました。

木田：「事件と表現する向きもありますが、本年3月に**沖縄県名護市辺野古沖で発生した2隻の船転覆事故**では、ヘリ基地反対協議会によって意図せず抗議船に乗船させられた同志社国際高校の生徒が死傷させられるという大惨事となりました。その後、**ヘリ基地反対協議会に属する死亡した船長が、海上運送法違反の容疑で刑事告発され、5月には、文部科学省が同校の平和学習が学校の政治的中立を求める教育基本法に違反すると認定しました。**

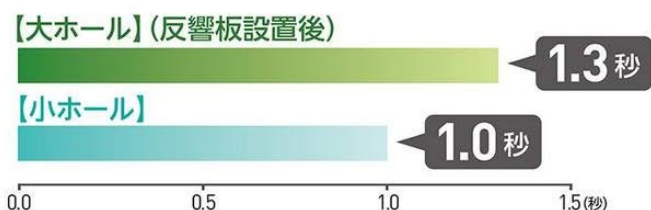
また、本年5月にも、**北越高校の男子ソフトテニス部が乗車していたレンタカーのマイクロバスの事故**により、乗車していた高校生が死傷させられるという大惨事となり、**マイクロバスの運転手が過失運転致死傷の疑いで逮捕**されました。直近で発生したこれら2件を見ても、本陳情の要旨が教育現場においていかに重要かがわかります。先述したような事故や事態などを板橋区として生起させないためにも、板橋区として本陳情の要旨を十分肝に銘じ、**区立学校が関与する外部活動の安全確保及び中立性をこれからも徹底するよう要望します。**」

文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会

02

「文化芸術施設のあり方について」をテーマに「板橋区立文化会館」を視察。大ホールや小ホールはじゅうたんが敷かれているため、演奏会などの音が十分響かないというご意見を時折区民の方から伺います。

一方、音源の振動が止まってから音圧が60dB減衰するまでの時間を「残響時間」といいますが、残響時間は、



大ホールが1.3秒(反響板設置後)、小ホールが1.0秒で、特に大ホールはクラシックコンサートでも悪くない環境とのことでした。また、演劇や講演会は残響時間が少ない方が好ましいとのことで、残響時間の大小で施設の評価はできないと感じました。

よって、その後の私からの意見出しでは、

「あらゆる目的での利用を想定している文化芸術施設については、総合的な観点から設計すべきであり、例えば、残響時間の観点からも、各種演出に適した空間を作為すべきである。」

と述べました。

